

# 島根県消防操法大会

## 雲南市消防団全出場隊入賞



8月7日、第49回島根県消防操法大会が邑南町の瑞穂中学校グラウンドで開催され、県内各地からポンプ車の部に13チーム、小型ポンプの部に23チームが参加しました。

雲南市消防団からは、この大会へ大東方面隊（ポンプ車の部）・加茂方面隊・木次方面隊（小型ポンプの部）の3チームが出場。各出場隊は、猛暑の中、日頃の練習成果を競いました。

大会の成績は、小型ポンプの部・加茂方面隊が195点（200点満点中）で3位、木次方面隊が192点で5位、ポンプ車の部・大東方面隊が182点で5位という結果でした。

また、3週間前の7月17日には、斐伊川河川敷において第30回管内消防操法大会が開催され、小型ポンプの部で三刀屋方面隊が、ポンプ車の部で大東方面隊がそれぞれ準優勝という結果でした。

出場隊の団員は、これらの大会に向け、春先から連日連夜練習に励んでこられました。団員のみならず、おつかれさまでした。

### 第49回 島根県消防操法大会結果

5位までが入賞

| 小型ポンプの部 |        |     |
|---------|--------|-----|
| 順位      | 市町村名   | 得点  |
| 1       | 出雲市・出雲 | 197 |
| 2       | 奥出雲町   | 196 |
| 3       | 雲南市・加茂 | 195 |
| 4       | 大田市    | 194 |
| 5       | 雲南市・木次 | 192 |

| ポンプ車の部 |        |     |
|--------|--------|-----|
| 順位     | 市町村名   | 得点  |
| 1      | 邑南町    | 197 |
| 2      | 益田市    | 193 |
| 3      | 日原町    | 189 |
| 4      | 松江市・玉湯 | 183 |
| 5      | 雲南市・大東 | 182 |

## 第49回 島根県消防操法大会 出場選手のみなさん (敬称略)

### 第3位入賞 加茂方面隊 加茂西分団 (小型ポンプの部)



指揮者 勝部 渉  
 1番員 永井 正巳  
 2番員 日野 毅  
 3番員 舟越 隆博  
 吸管補助員 常松 征二

### 大東方面隊自動車分団 (ポンプ車の部) 第5位入賞

指揮者 白根 達也  
 1番員 小山 朋徳  
 2番員 狩野 幸徳  
 3番員 森山 真也  
 4番員 青木 俊之  
 吸管補助員 内田 健志



### 第5位入賞 木次方面隊 斐伊分団 (小型ポンプの部)



指揮者 多根 英志  
 1番員 佐藤 光祥  
 2番員 勝平 誠  
 3番員 高橋 勇  
 吸管補助員 村松 優

### シリーズ「地域自主組織」を考える②

#### 「地域自主組織」の検討の進め方

多くの住民が参画できるように



島根県中山間地域研究センター  
地域研究グループ  
笠松 浩樹

各地区で地域自主組織の設立へ向けた議論を行っているところですが、手探り状態で先行きが見えにくいというご意見もあります。そこで今回は、地域自主組織ではどのような点を重視すればよいかについてお話ししましょう。

#### 1 様々な世代が関わる機会をつくる

地区には子ども、お年寄り、男性、女性など様々な立場の人が住んでいます。みんなが参加できる機会を多くつくれば、活動にも深みが出て楽しくなります。

まずは住民がどのような考えを持っているのかを把握することが有効です。さらに、地区内の良いところや課題を多くの年齢層の目で探してみましょう。

住民の声を聞く方法はたくさんあります。例を挙げてみますので、地区の方法に合った形で実施してみてください。

- ①子どもからお年寄りまでを対象とした全員アンケートの実施
- ②世代別意見交換会の開催（20歳代以下、30～40歳代、50～60歳代、70歳代以上、など）
- ③ワークショップの開催（地区の地図を見ながらの意見交換、みんなで地区内を歩いて点検、など）

#### 2 活動がリーダーを育てる

「ウチの地区にはリーダーがいらないから物事が進まない」という声をよく聞きます。リーダーの存在は確かに大きいですが、リーダー一人

頑張りによって「地域自主組織」が動くものではありません。

地区には様々な人が存在します。話をまとめることが得意な人、そこにいるだけで雰囲気になごむ人、事務作業をこなせる人、大きな夢を語ってみんなを盛り上げる人、職人さん、資格や専門分野の知識を持った人など、みんなは何らかの得意技を持っているでしょう。

#### 住民それぞれの得意技を活かす活動や役割を考えてみましょう。

そうすれば、住民一人ひとりがその道のリーダーとして活躍することができ、組織づくりや活動を通してリーダーが育ちます。



#### 3 地区内の情報流通を進める

地域自主組織の理念、目標、組織の構成などは、これからの話し合いによってつくられていくこととします。その過程を地区内に知らせることが重要です。

情報発信を行う時、地区外部への働きかけを考えますが、最初の段階では地区内部への情報の流通の方が何倍も重要になります。「あれ（地域自主組織）はあの人がやっているから」という状況にならないようにしましょう。

常会などで地域自主組織の経過説明を行う方法もありますが、世帯主以外の方にも的確に情報を届けることを考える必要があります。

その場合、地区内部向けの情報誌を発行することが有効です。固い話だけではなく、地区の良いところの紹介を盛り込んだり、子どもにも読みやすい表現を考えたりしてみたいかがでしょうか。